

会場満席200人。元気でた



同級生から贈られた花束を手に声援にこたえる川内たかし選挙区予定候補と宮本衆議院議員

24日、彦根・犬上地域のみなさんを対象に、ひこね市文化プラザで開催した日本共産党演説会は会場一杯の200人ものみなさんが参加していただきました。
会場を出るときには「元気がわいてくる」と参加者のみなさんの声が一様にはずむ、明るく元氣の出る演説会となりました。

演説会に向けて彦根・犬上地域の議員のみなさんや後援会はチラシや招待券のチケットをもつてJ.A、郵便局、支所回りをはじめ首長や庁舎幹部、自治会長、老人会など、のきなみ訪問してきました。当日は夕刻から冷たい強風が吹きましたが、おしのけるように送迎バスや知り合いどうしで乗り合わせ

せぞくぞくと来場。首長や保守議員のみなさんの顔も見受けられました。ホール前には犬上後援会から「募金制の手づくり草もち」の販売も行われ用意した草もちも売り切れる盛況ぶりでした。

前段に登壇した「障害者自立支援法はやめて」と裁判に訴えた原告の滝本靖子さん（彦根市野良田町）は「働くのにお金を払わなければならなくなり、毎日のささやかな楽しみもあきらめた」とことなどを語り、「今後新たにできる法律は障害者のためになる法律をつくってほしい。そのためにも、今度の参議院選挙では日本共産党が大いに伸びてほしい」と訴え、



障害者自立支援法廃止を訴えた原告、滝本靖子さん

川内たかし選挙区予定候補は、大企業の内部留保の増加と雇用者報酬の減少のグラフをかけた、「くらしを守るには、大企業にもの言える日本共産党の前進がどうしても必要。地元出身の市田忠義書記局長など比例5候補と滋賀で川内の当選で働かせてほしい」と訴え、米原高校の同級生が花束を贈り激励しました。

アンケートから

宮本さんの話は声が大きく、わかりやすかった。具体的でうまい。

自民も民主も力ネの問題で困ったもんだ。信用できない。

わかりやすく、面白く、楽しくかつ元気をもらいました。

民主にはがっかり。自民・公明はこりこり。

川内さん心強いです。ぜひ、国会へ。

会場からの質問に答えるコーナーでは「郵政が民営化されればリカン便が吸収され解雇となつた」「普天間基地はなぜできたか」「比例定数の削減はどう考えるか」「農業について」などの質問にいていねいに答えました。

宮本たけし衆議院議員は文教委員会での各党の対応を紹介し、「国際人権規約の批准」を迫り、政府に認めさせたこと、川端大臣の横に座って「高校授業料の無償化の修正案の質問に答える立場になった変

化を関西弁で楽しく語りました。しかし、参議院の文教委員会には共産党議員がいないと語り、会場参加者からは「今度の選挙でどうしても共産党を増やさんと」との決意も。

会場での募金の訴えにこたえて寄せていただいたみなさんは73人、金額の合計は7万2千500円でした。大切に使用させていただきます。心からお礼申し上げます。

募金

ありがとうございました

市田書記局長来る

とき:5月29日(土)午後3時~
ところ:大津・びわ湖ホール

市田忠義 書記局長・参院議員
川内たかし 党県書記長がお話します